

社長メッセージ

2024年5月16日（木）

■「まかせられる人が、いる。」

皆様、こんにちは。昨日は、当社が山口県山陽小野田市で、木質バイオマス発電所の共同事業を行う、西松建設株式会社様の創立150周年パーティーにご招待されて、出席してきました。

明治初頭より長年事業継続されてきた名門の建設会社さんです。あれほどたくさんの方がお祝いのために出席されたパーティーは初めての経験でした。創業以来のビデオを拝見し、高瀬社長のご挨拶がありました。西松建設さんも、たくさん大変な壁を乗り越えて今があるということを知り、驚きました。斉藤鉄夫国土交通大臣の祝辞があり、乾杯のご発声は加藤勝彦みずほ銀行頭取でした。終始、和やかな素敵な祝賀会でした。

〆のご挨拶は、同社細川副社長でした。細川副社長とは、本年3月まで地域ソリューション本部の本部長として、山陽小野田バイオマス発電所開設の準備を一緒にお取り組みさせて頂いた仲です。来る6月の同社株主総会後に、社長にご就任されることが内定し、発表されています。

昨日、このバイオマス発電所の試運転が開始しました。本格稼働はいよいよ7月からです。ここまで3年がかりでしたが、信頼できる仲間たちと仕事をつくり上げていくというのは、本当に素晴らしいことですね。とても良い経験をさせて頂いています。

「まかせられる人が、いる。」は、西松建設さんのキャッチフレーズです。西松建設さんは、正に、まかせられる人たちの集団です。今回のバイオマス発電所を、西松建設さんと当社が共同事業で行うことになったそもそものきっかけは、地域ソリューション本部の藤原副本部長とのご縁からです。藤原副本部長がみずほ銀行時代に、当社を担当して頂き、当社と当社の運営ファンドに多額のご融資をして頂いておりました。その後、支店長等ご出世されて、西松建設さんへご出向の後に転籍されて、またまた当社をご担当頂くことになりました。藤原副本部長と、この3月まで山陽小野田グリーンエナジーの社長だった神谷部長と、3人で乾杯させて頂きました。「まかせられる人が、いる。」これほど心強いことはありません。

細川副社長、藤原副本部長、神谷部長といった西松建設の方々は、本当に信頼出来ます。当社が掲げている4つのテーマのうち『地方創生』と『クリーンエネルギー』は、今回のバイオマス発電所の建設を契機に、電力供給事業、木質バイオマスチップを製造するための林業事業と山林の整備事業を通じて、西松建設さんと共に、その地域の『町づくり』を行っていきます。来週は、いよいよ『火入れ式』です。皆様、西松建設様との共同事業について、どうぞご期待ください。

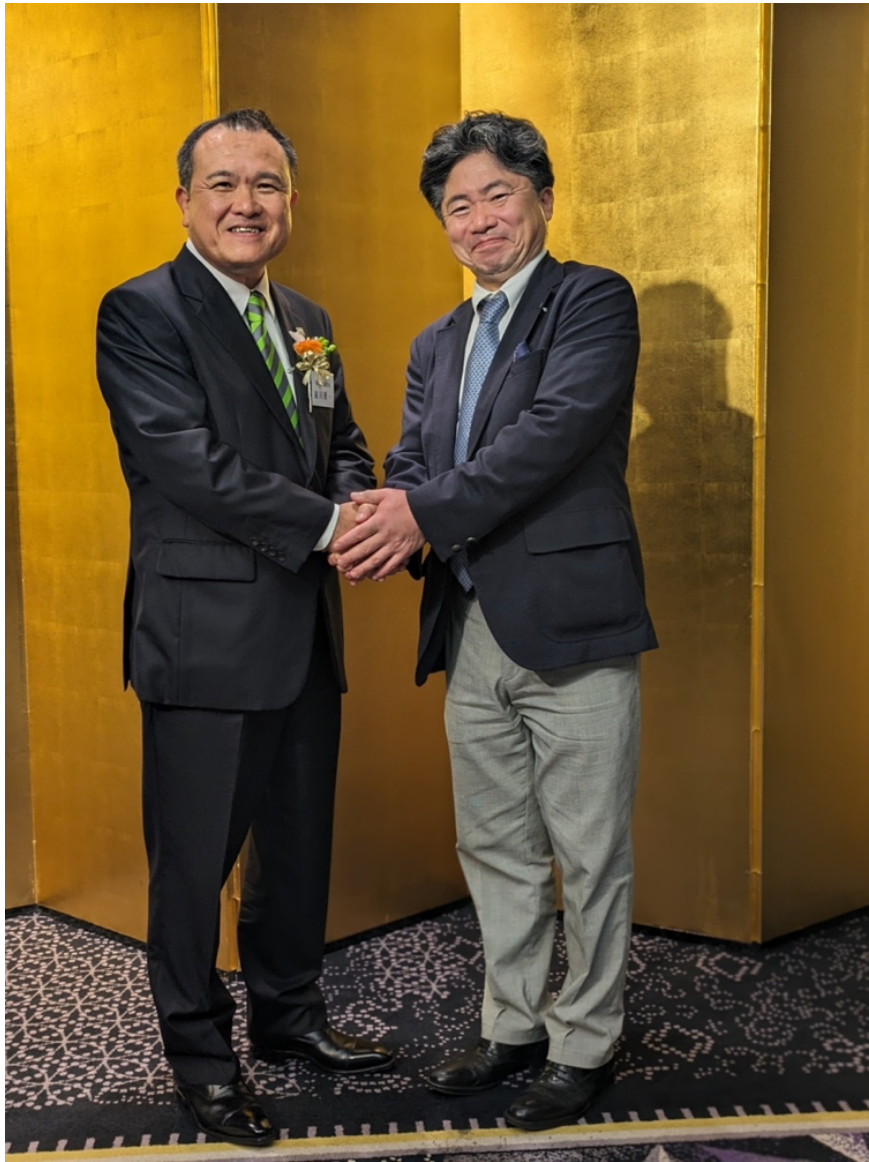
この度は、西松建設の皆様、創立150周年、誠におめでとうございます。引き続き、これからもご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

なお、当社も「まかせられる人が、いる。」という状況になってきています。来週以降順次、皆様に当社の「まかせられる人が、いる。」ということをお示ししたいと考えております。

代表取締役社長 前田 健 晴



向かって左側が、西松建設地域ソリューション本部・藤原副本部長、前田、
右側が、この3月まで山陽小野田グリーンエネルギー社長だった神谷部長。



向かって左側が、細川副社長。
細川副社長は、この6月の株主総会後に、新社長に就任されることが内定しています。